

データ構造とアルゴリズム

第4回 グラフ

小池 英樹 (koike@c.titech.ac.jp)

グラフ(GRAPH) (復習)

➤ Graph $G = (V, E)$

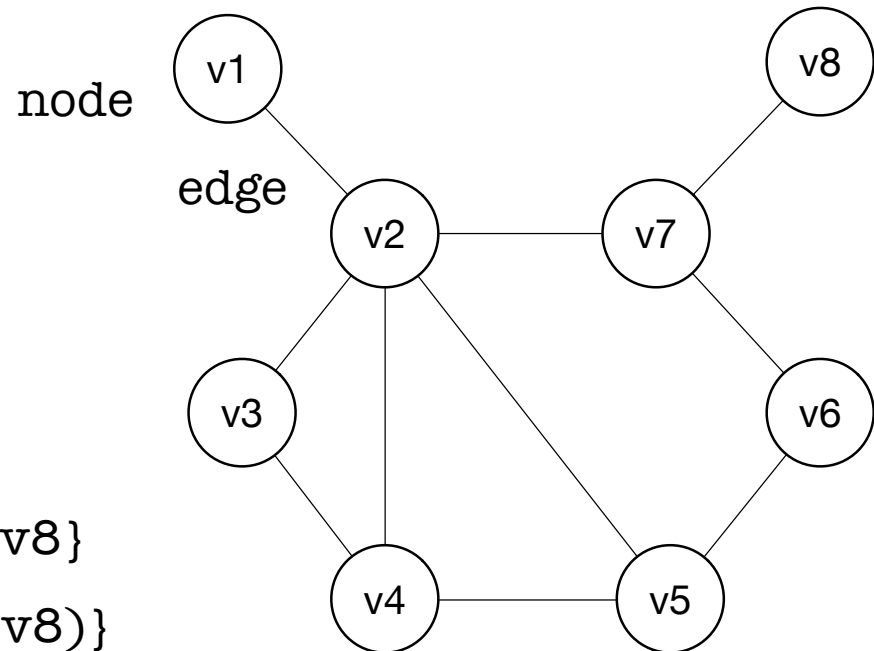
➤ V : 有限個の節点(node, vertex, 頂点)の集合

➤ E : 有限個の節点对 $e = (v_i, v_j)$ (枝, 辺, edge, arc, branch)の集合

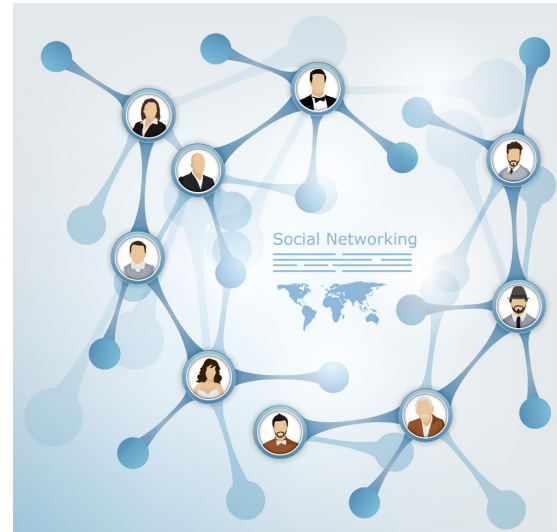
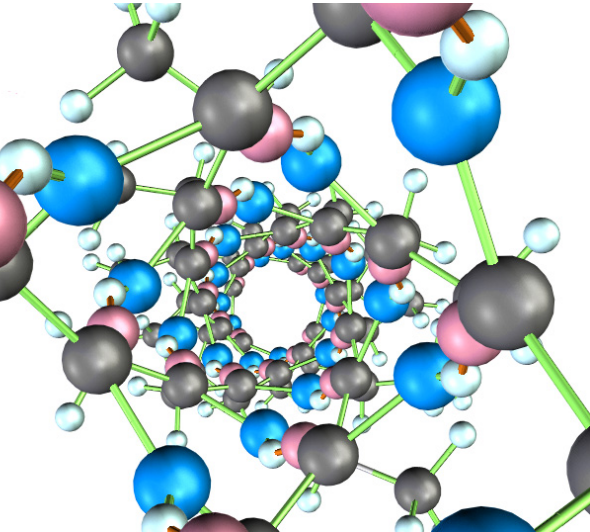
➤ v_i, v_j : 端点

$V = \{v_1, v_2, v_3, v_4, v_5, v_6, v_7, v_8\}$

$E = \{(v_1, v_2), (v_2, v_3), \dots, (v_7, v_8)\}$



.....



GRAPH APPLICATION

.....

graph	vertex	edge
communication	telephone, computer	cable
circuit	gate, register, processor	wire
mechanical	joint	rod, beam, spring
financial	stock, currency	transactions
transportation	intersection	street
internet	class C network	connection
game	board position	legal move
social relationship	person	friendship
neural network	neuron	synapse
protein network	protein	protein-protein interaction
molecule	atom	boan

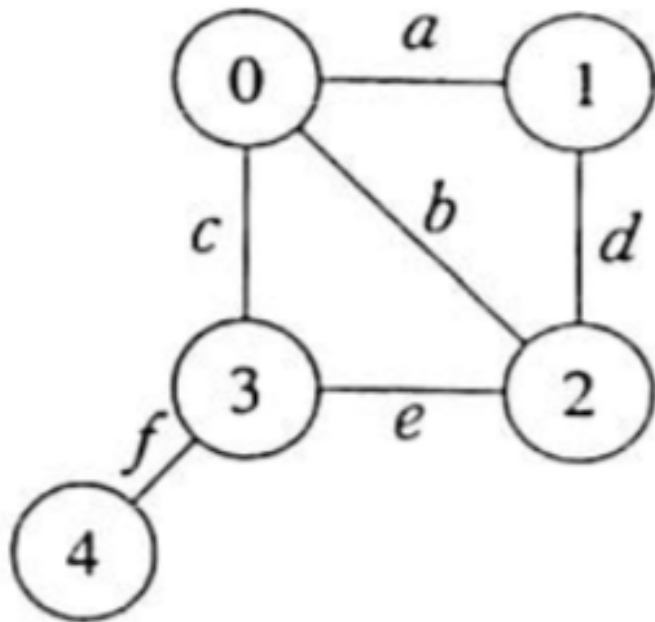
GRAPH-PROCESSING PROBLEMS

.....

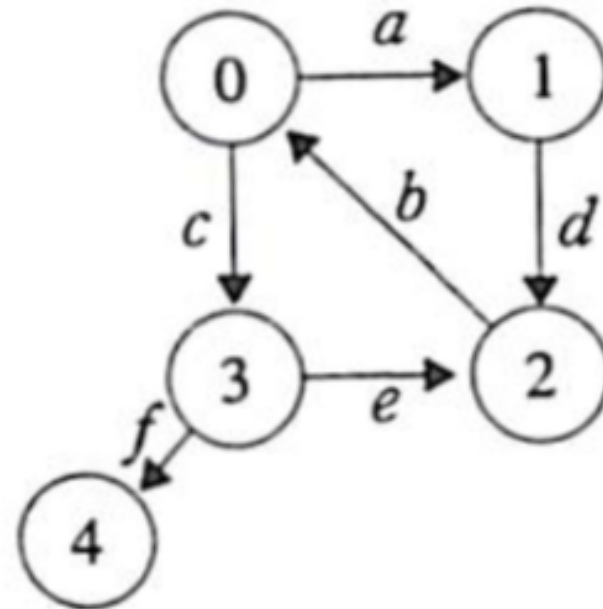
problem	description
s-t path	s と t の間に path はあるか？
shortest s-t path	s と t の間の最小の path は何か？
cycle	グラフの中に閉路はあるか？
Euler cycle	各エッジを 1 回しか使わない閉路はあるか？
Hamilton cycle	各ノードを 1 回しか使わない閉路はあるか？
connectivity	すべてのノード接続する方法はあるか？
biconnectivity	削除するとグラフが連結でなくなるノードはあるか？
planarity	エッジを交差させることなく 2 次元平面に描画できるか？
graph isomorphism	2 つの隣接リストは同じグラフか？

無向グラフと有向グラフ

無向グラフ

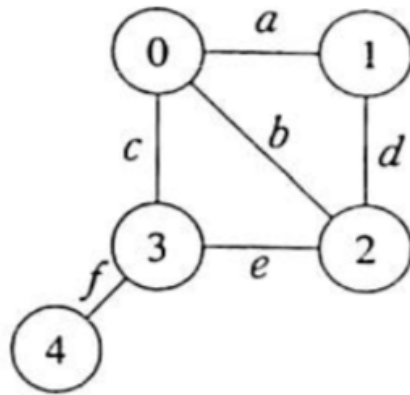


有向グラフ



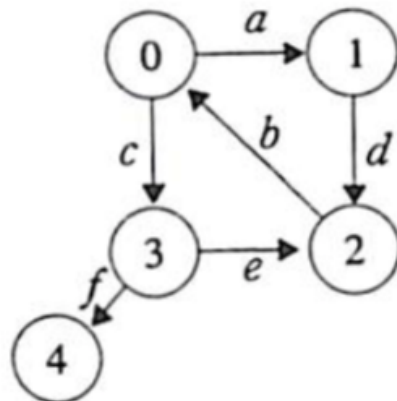
接続行列(INCIDENCE MATRIX)による表現

無向グラフ



	<i>a</i>	<i>b</i>	<i>c</i>	<i>d</i>	<i>e</i>	<i>f</i>
0	1	1	1	0	0	0
1	1	0	0	1	0	0
2	0	1	0	1	1	0
3	0	0	1	0	1	1
4	0	0	0	0	0	1

有向グラフ

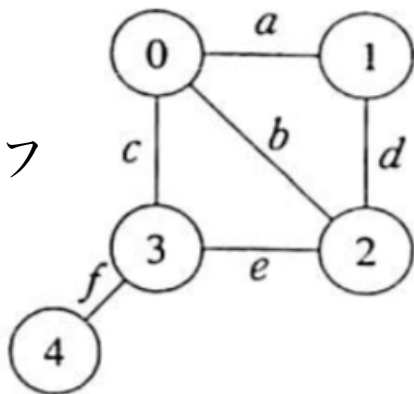


	<i>a</i>	<i>b</i>	<i>c</i>	<i>d</i>	<i>e</i>	<i>f</i>
0	1	-1	1	0	0	0
1	-1	0	0	1	0	0
2	0	1	0	-1	-1	0
3	0	0	-1	0	1	1
4	0	0	0	0	0	-1

節点数 n , 枝数 m に対し, $O(mn)$ の領域を必要とする

隣接行列(ADJACENCY MATRIX)による表現

無向グラフ

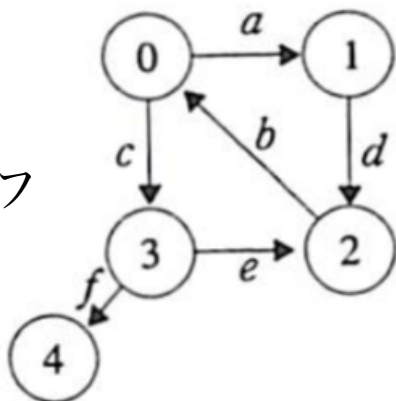


	0	1	2	3	4
0	0	1	1	1	0
1	1	0	1	0	0
2	1	1	0	1	0
3	1	0	1	0	1
4	0	0	0	1	0

	0	1	2	3	4
0	0	a	b	c	0
1	a	0	d	0	0
2	b	d	0	e	0
3	c	0	e	0	f
4	0	0	0	f	0

ラベル付きグラフの場合

有向グラフ



	0	1	2	3	4
0	0	1	0	1	0
1	0	0	1	0	0
2	1	0	0	0	0
3	0	0	1	0	1
4	0	0	0	0	0

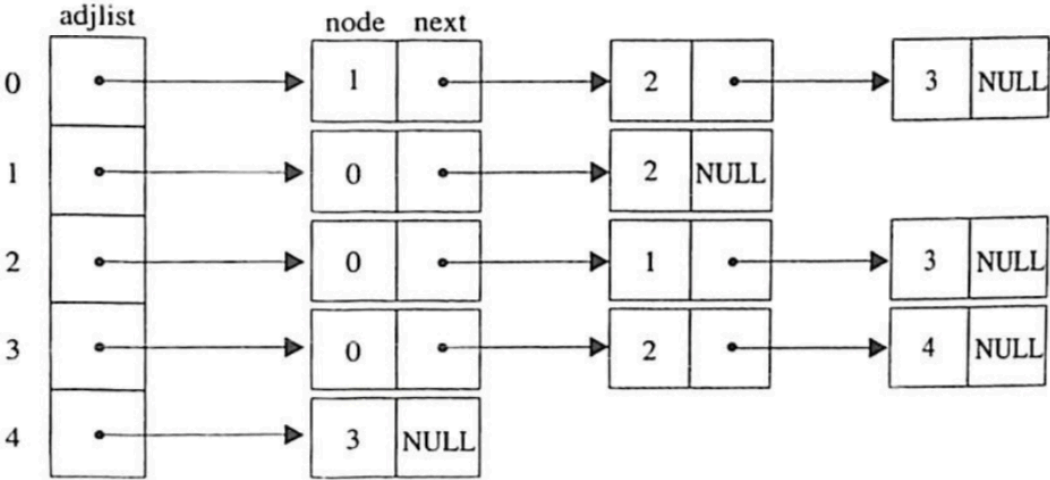
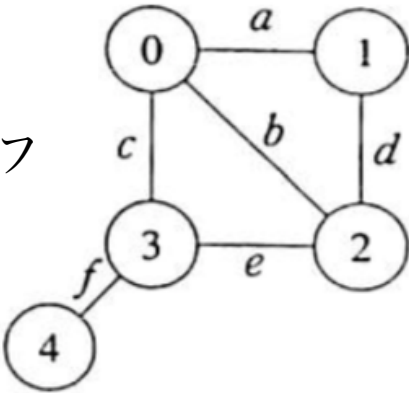
	0	1	2	3	4
0	0	a	0	c	0
1	0	0	d	0	0
2	b	0	0	0	0
3	0	0	e	0	f
4	0	0	0	0	0

ラベル付きグラフの場合

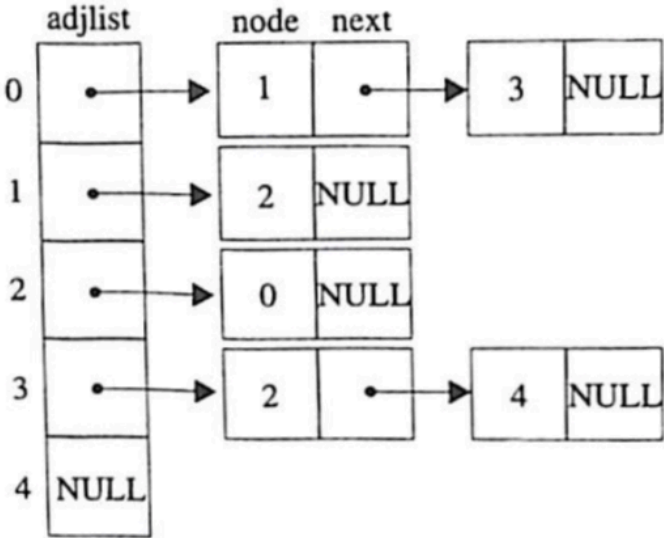
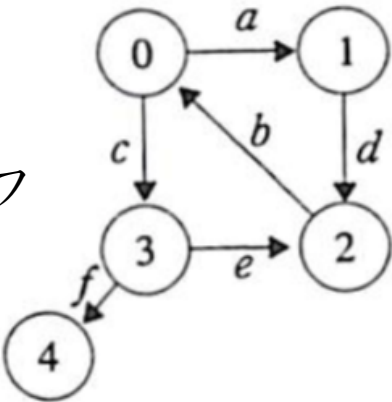
節点数 n に対し、 $O(n^2)$ の領域を必要とする

隣接リスト (ADJACENCY LIST)のポインタによる表現

無向グラフ



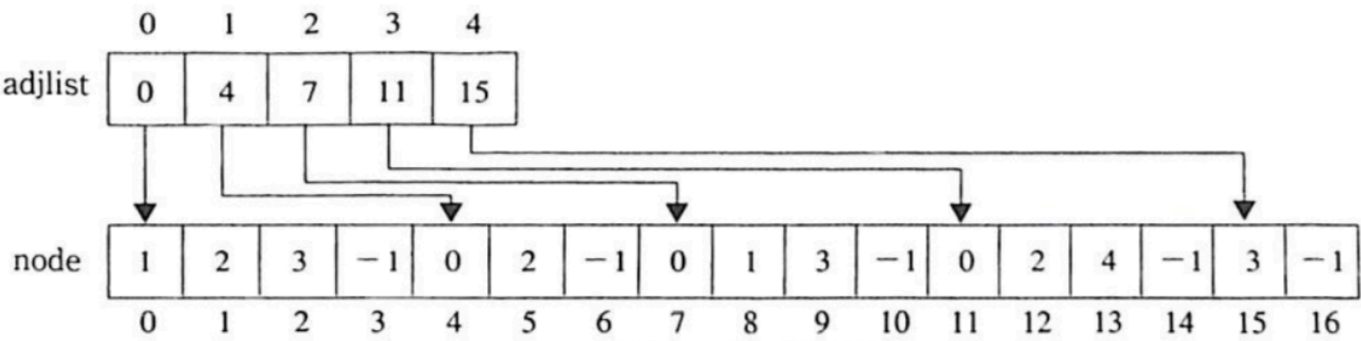
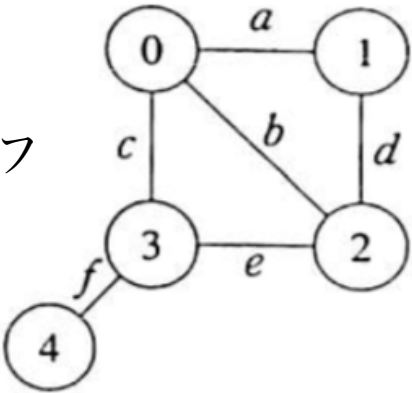
有向グラフ



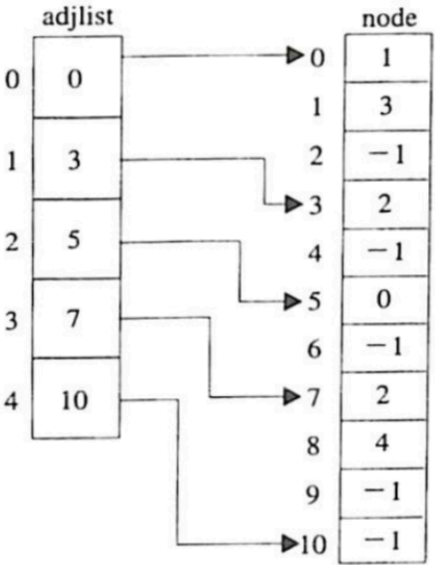
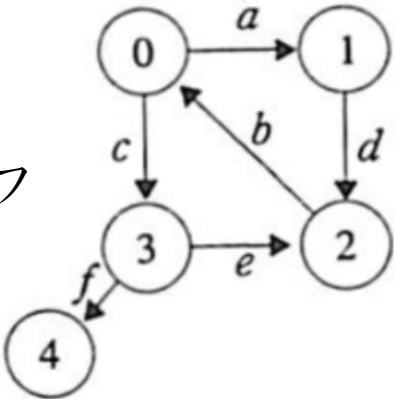
必要な領域量は $O(m + n)$

隣接リストの別表現

無向グラフ



有向グラフ



隣接行列と隣接リストの利点・欠点

	利点	欠点
隣接行列	2 頂点間に辺があるか否かを $O(1)$ でチェック可能	$O(n^2)$ の記憶領域が必要 1 つの頂点の隣接頂点を求めるのに $O(n)$ 時間必要
隣接リスト	$O(m+n)$ の記憶領域ですむ 1 つの頂点の隣接頂点を求めるのには、その隣接頂点数に比例した時間だけで可能	2 頂点間に辺があるか否かをチェックするのに、隣接頂点数に比例した時間が必要

現実世界のグラフは疎(sparse)なものが多いため、隣接リストが多く使われる。

グラフの探索

- ▶ グラフが与えられたとき，そのすべての頂点を訪問すること
- ▶ 応用：
 - ▶ ゲーム（迷路，ボードゲーム），画像処理，etc.
- ▶ 基本的探索法：
 - ▶ 深さ優先探索(depth-first-search)
 - ▶ 幅優先探索(breadth-first-search)

深さ優先探索

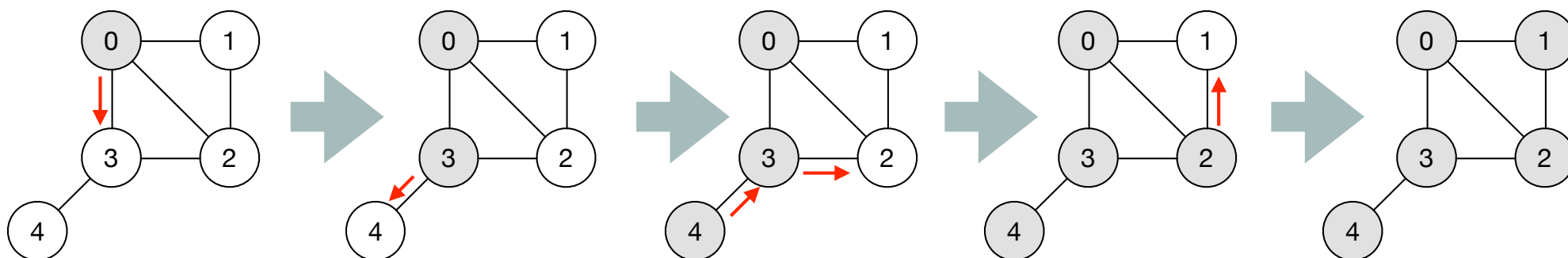
➤ 基本的な考え方

- 出発点から始めて、長兄を調べ、次に長兄の長兄を調べ、と縦方向を優先して調べる。
- 木の走査(前順, 中順, 後順)と同じ。
- ただし、閉路(cycle)があるので、一度調べた(visited)頂点は再度訪問しない。

深さ優先探索

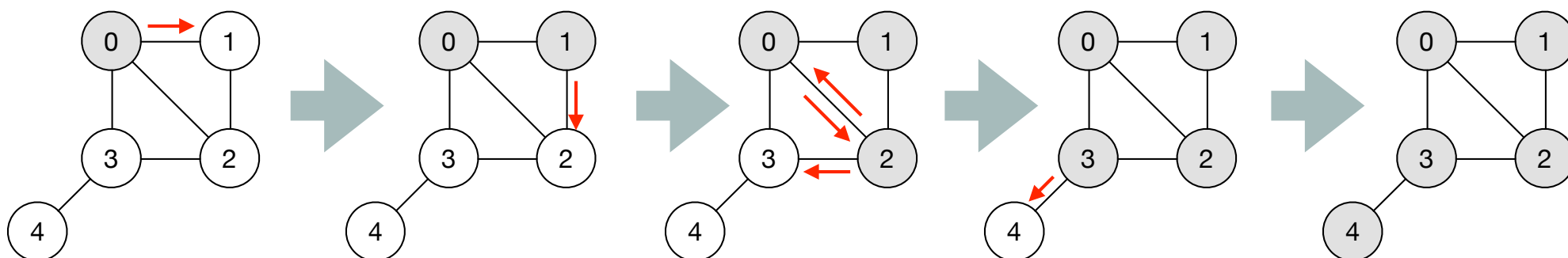
動作の概要

訪問の順番: 0->3->4->2->1



別なケース（データの定義に依存する）

訪問の順番: 0->1->2->3->4



深さ優先探索

アルゴリズムの概要（再帰版）

```
dfs(v) {  
    vをvisitedとマークする  
    vに関する処理を行う  
    for (vに接続しているすべての頂点 i)  
        if (iがunvisited)  
            dfs(i)  
}
```

深さ優先探索：隣接行列によるプログラム例

```
void dfs(int i)
{
    int j;

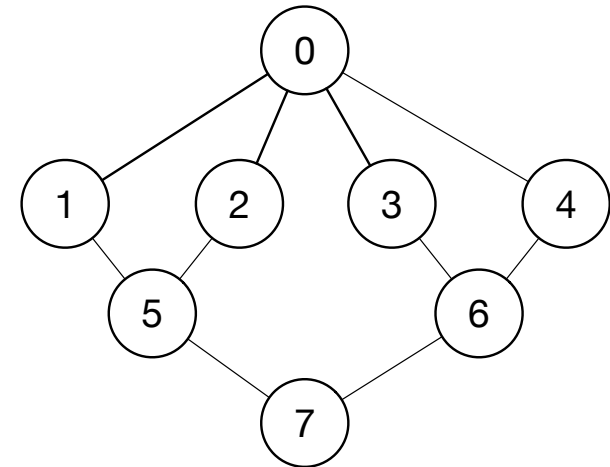
    printf("\n%d", i);
    visited[i]=1;

    for(j=0; j<n; j++)
        if(!visited[j]&&G[i][j]==1)
            dfs(j);
}
```

```
void main() {
    int i;

    for (i=0; i<8; i++) /* 初期化 */
        visited[i] == 0;

    dfs(0);
}
```



```
int G[8][8] = {
    0, 1, 1, 1, 1, 0, 0, 0,
    1, 0, 0, 0, 0, 1, 0, 0,
    1, 0, 0, 0, 0, 1, 0, 0,
    1, 0, 0, 0, 0, 0, 1, 0,
    1, 0, 0, 0, 0, 0, 1, 0,
    0, 1, 1, 0, 0, 0, 0, 1,
    0, 0, 0, 1, 1, 0, 0, 1,
    0, 0, 0, 0, 0, 1, 1, 0,
};

int visited[8];
```


深さ優先探索

アルゴリズムの概要（非再帰版）

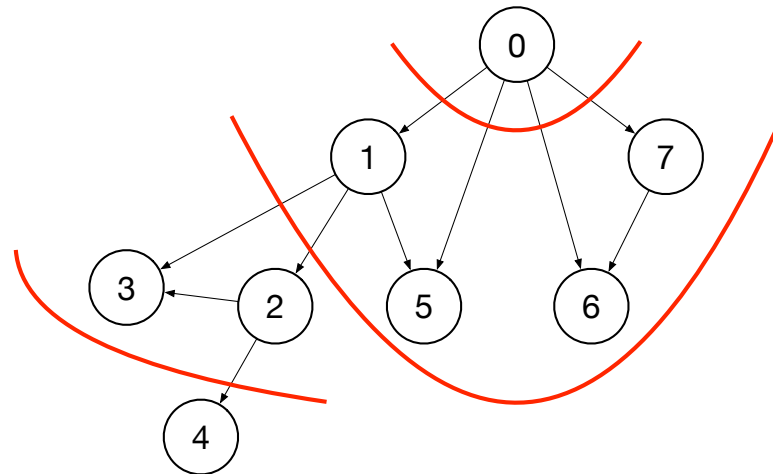
```
dfs(v) {  
    S = 空のスタック  
    vをvisitedとマークする  
    vをSに追加(push)  
    while (Sが空でない)  
        v = Sから取り出す(pop)  
        vに関する処理を行う  
        for (vに接続しているすべての頂点 i)  
            if (iがunvisited)  
                iをvisitedとマークする  
                iをSに追加(push)  
}
```

幅優先探索

➤ 基本的な考え方

- 出発点から始めて，子供をすべて調べる．子供を調べ終わってから，孫をすべて調べる．

動作の概略



幅優先探索

アルゴリズムの概要

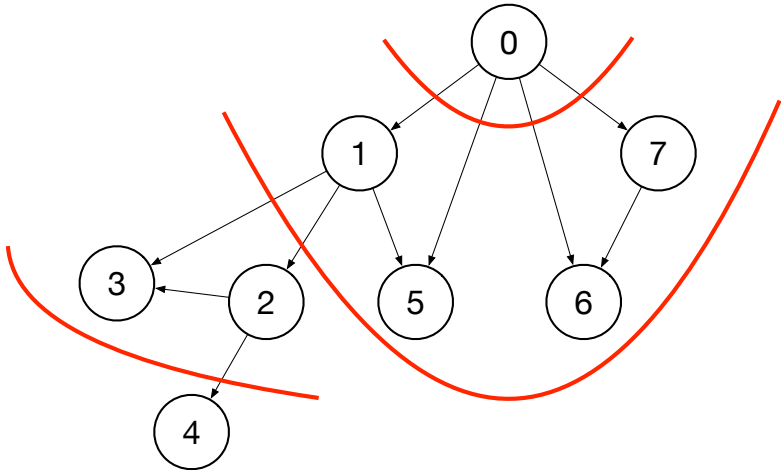
```
bfs(v) {  
    Q = 空のqueue  
    vをvisitedとマークする  
    vをQに追加(enqueue)  
    while (Qが空でない)  
        v = Qから取り出す(dequeue)  
        vに関する処理  
        for (vに接続する頂点i)  
            if (iがunvisited)  
                iをvisitedとマークする  
                iをQに追加する  
}
```

幅優先探索

アルゴリズムのstep数にともなうQの状態

step	visited	adjacent vertex	Q
0	-		<u>0</u>
1	0	1, 5, 6, 7	<u>1</u> , 5, 6, 7
2	1	3, 2, 5	<u>5</u> , 6, 7, <u>3</u> , 2
3	5	null	6, 7, 3, 2
4	6	null	<u>7</u> , 3, 2
5	7	6	<u>3</u> , 2
6	3	null	<u>2</u>
7	2	3, 4	<u>4</u>
8	4	null	-

*下線は次に取り出される頂点、赤字は新たに追加された頂点



隣接リスト

vertex	adjacent vertex
0	1, 5, 6, 7
1	3, 2, 5
2	3, 4
3	null
4	null
5	null
6	null
7	6

レポート課題

- (1)1つ前のスライドのグラフを隣接リストで表すプログラムを書き、これを、深さ優先探索（再帰）するプログラムを書き、実行しなさい.
- (2)上記グラフを、待ち行列(queue)を用いた幅優先探索で探索するプログラムを書き、実行しなさい.
- 締切：1/26(金) 17:00
- 提出先：algo2017@vogue.c.titech.ac.jp
- 告知：2/6(火)は期末試験